

総合交通メールマガジン

第99号

平成29年 3月 10日発行

発行元：国土交通省 総合政策局

総務課（総合交通体系グループ）



目次

Topics

- ◆暮らしを支える地域公共交通の実現をめざして
～市・交通事業者・地域が協働して「まもる・育てる・つくる」～
飯能市の地域公共交通について

（埼玉県 飯能市 生活安全課交通政策室）

総合交通体系グループだより

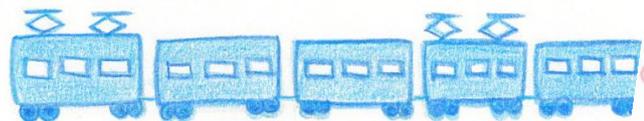
- ◆「ICT を活用した歩行者移動支援の普及促進検討委員会」（2016 年度 第3 回）
を開催しました！

（国土交通省 政策統括官付）

総合交通メールマガジンとは

Information

- ◆総合交通メールマガジンへのご意見をお寄せ下さい！
- ◆地域の取り組み 及び イベント案内 募集！！





Topics

◆暮らしを支える地域公共交通の実現をめざして ～市・交通事業者・地域が協働して「まもる・育てる・つくる」～ 飯能市の地域公共交通について

(埼玉県 飯能市 生活安全課交通政策室)

埼玉県の南西部にある飯能市は、都心から約 50km 圏内に位置し、交通アクセスも良好な環境にありながら、市域の約 76%を森林が占める人口約 8 万人の自然豊かな都市です。

飯能市では、少子高齢化などの影響により、路線バス利用者が減少し、平成 23 年に、民間バス事業者から市内営業所の廃止を具体的に検討するとの申し出を受けました。そこで、市は、市・交通事業者・地域が一体となって公共交通の維持確保に取り組むため、「市・交通事業者・地域が協働して『まもる・育てる・つくる』公共交通」を基本方針とした「飯能市地域公共交通基本計画」を定めました。

基本方針の「まもる」では、観光やイベント等によるバス利用の更なる促進を図るため、市街地の一部区間における「ワンコインゾーン」を導入しています。また、地域の住民組織と連携し、バス停を集合場所にしたエコツアー等を実施しています。

「育てる」では、バス路線をわかりやすく見せるため、市内を運行する民間 3 社の共通バス路線図やバスの乗り方、公共施設や観光施設等を掲載したバスルートマップを作成し、市内転入者に配布するほか、公共施設等で配布しています。また、小学生を対象にしたバスの乗り方教室の開催や「公共交通ニュース」を毎月発行するなど、モビリティマネジメントの推進により、公共交通に対する意識の醸成を図っています。

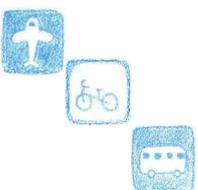
「つくる」では、地域・交通事業者・市のいずれもが交通サービスの導入等の「おでかけ」しやすい環境づくりのための提案ができる仕組みの検討や地域住民が主体となった取り組みの支援を実施しています。

本稿で紹介する飯能市の取り組みは、自治体・交通事業者・地域住民が連携して公共交通を維持確保する取り組みとして大きな参考になると思われます。

《記事はこちら↓》

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1703hannou01.pdf>

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1703hannou02.pdf>





総合交通体系グループだより

◆「ICT を活用した歩行者移動支援の普及促進検討委員会」 (2016 年度 第 3 回) を開催しました！

(国土交通省 政策統括官付)

国土交通省では、ユニバーサル社会の構築に向けて、ICT（情報通信技術）を活用したバリアフリーに配慮したナビゲーション等のサービスの普及促進を図るため、「ICT を活用した歩行者移動支援の普及促進検討委員会」（委員長：坂村健東京大学大学院情報学環教授）を設置し検討を進めています。

サービス実現に当たっては、歩道上の段差や勾配、幅員等のバリア情報が必要不可欠ですが、2020 年に向けてデータの整備を加速化させるため、今年度は、データ仕様の簡素化、多様な主体による効率的なデータ整備・更新手法等について検討を実施しました。

この度、3 月 1 日（水）に今年度の第 3 回委員会を開催し、これら検討状況や来年度の検討事項等について審議していただきました。審議結果を踏まえ、データ仕様（改訂版）やガイドライン（改訂版）等を 3 月中に公表する予定です。

国土交通省では、引き続き、地方公共団体等の様々な主体と連携しながら歩行者移動支援サービスの普及促進に取り組んでまいります。関心のある方はお問い合わせください。

《参考資料はこちら↓》

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1703hokousha.pdf>



総合交通メールマガジンとは

総合交通メールマガジンは、交通基盤整備や地域交通に関する最新の取り組みを幅広く紹介することを目的として、月一回を目処に発行しているメールマガジンであり、主な購読者は都道府県、市町村等の交通施策担当者です。

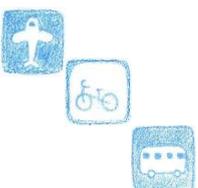
当メールマガジンで紹介させていただく記事は、執筆者が任意の協力のもとで作成したものであり、成果を広く共有する観点から、二次的利用も可能な形式で掲載しております。

《総合交通メールマガジンのバックナンバーはこちら↓》

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/seisakutokatsu_soukou_tk_000005.html

また、当メールマガジン以外でも、公共交通政策全般について、国民の皆様に広く関心を持って頂くためのメールマガジンを配信しております。ご興味のある方は、以下のアドレスから配信のご登録をお願いします。

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei_transport_tk_000039.html





Information

◆総合交通メールマガジンへのご意見をお寄せ下さい！

本メールマガジンでは、読者の皆様からのご意見・ご要望を踏まえ、内容の充実を図りたいと考えています。誌面の感想、取り上げて欲しいテーマなど、ご意見等頂けると幸いです。下記フォームに入力し、デスクトップ等に保存した上で、hqt-soukou-mm@ml.mlit.go.jp までお送りください。ご協力のほどよろしくお願い致します。なお、パソコンの環境等により不具合が生じた場合は、hqt-soukou-mm@ml.mlit.go.jp までご連絡頂けますと幸いです。

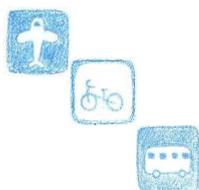
Q. 今回のメールマガジンで配信した記事は関心のある内容でしたか？

記事		非常に 関心 ある内容	関心 のある 内容	あまり 関心 のない 内容
Topics	暮らしを支える地域公共交通の実現をめざして ～市・交通事業者・地域が協働して「まもる・育てる・つくる」～ 飯能市の地域公共交通について			
総合交通体系 グループだより	「ICTを活用した歩行者移動支援の普及促進検討委員会」 (2016年度 第3回)を開催しました！			

Q. 今後のメールマガジンでどのような情報を配信してほしいですか？

メールマガジンの受付窓口が変更になった行政機関等の方については、送信先の変更を申請下さい。なお、他部署でも楽しんで頂けるよう努めて参りますので、引き続きのご購読も歓迎しております。変更内容については、下記連絡先までお願いします。

E-mail : hqt-soukou-mm@ml.mlit.go.jp





◆地域の取り組み 及び イベント案内 募集！！

当課では、情報提供頂いた取組をメールマガジンで紹介することで、各地域にノウハウ等の情報共有・情報交換ができればと考えており、総合的な交通施策の取組について情報提供頂ける自治体等を募集しています。自薦・他薦は問いませんので、お気軽にご連絡下さい。また、イベント案内や、勉強会、講演会、セミナーなどをご紹介頂ければ、当メールマガジンにてご案内させていただきます。主催者の方でも、耳より情報でも結構です。(情報提供はこちらまで hgt-soukou-mm@ml.mlit.go.jp)

【情報提供頂く内容】

- ・ 低炭素社会の実現に向けモビリティのあり方を見直す取組（交通の再編等）
- ・ 交通の改善により地域活性化を図る取組 など

※バックナンバー一覧：

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/seisakutokatsu_soukou_tk_000005.html

【問い合わせ先】

国土交通省 総合政策局 総務課（総合交通体系グループ） 樋口

TEL：03-5253-8111（内線53-113）

FAX：03-5253-1675

E-mail：hgt-soukou-mm@ml.mlit.go.jp

URL：<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/index.html>



※ 総合交通メールマガジンのメールアドレスが変わりました。

